

## 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組

### 1. 履修指導

本学の履修指導は、入学直後の教職課程ガイダンスより開始し、各学期の開始期に学部単位、学科単位、個別対応の三段階できめ細やかな履修指導を実施するだけでなく、学生の履修状況や学業の進捗状況、卒業後の進路に係る免許・資格の取得に応じた個別指導を随時実施している。

まず、入学直後のガイダンスでは、配布資料を元に教職の意義や社会的使命を教授するとともに、4年間での履修モデルの紹介や教職課程履修学生としての学生生活上の諸注意等を伝達する。特に、単なる免許ホルダーとならないよう、教員になるという目標と責任感を理解させることと、学部・学科における専門領域の学修が十分な学生のみが履修すべきであることの認識を徹底させている。実用英語技能検定 2 級以上の取得等、教職履修条件を独自に課す学科や、教科教育における学力・指導力が十分でない場合は、取得希望免許を減らして集中的に知識・技術の修得に当たらせることもある。

また、教育実習前後には、授業内のみではなく、時間外指導を設けることにより、更なる教育の質の向上を目指している。教育実習許可には一定の条件(履修した教職科目の「不可」が 2 科目未満であることを課し、教育現場での実践的な学修に相応しい学生のみが履修できるようにしている。

更に、教職課程全体を俯瞰した履修状況を把握させるため、4 年次後期の「教職実践演習」で主として取り扱う「教職履修カルテ」を、1 年次から各科目で強く認識させ、学びの段階性・系統性を各学生が主体的に担保できるように配慮している。

4 年次後期終了後には、教職課程履修の総仕上げとして、教職履修カルテの確認および免許申請に係るガイダンスを実施している。これら一連の履修指導により、学生の入職後の職能成長が円滑に行われるための基礎整備を目指している。

### 2. 教職指導

本学の教職指導体制としては、教員養成課程運営の重要性に鑑み、平成 19 年 7 月に全学教職課程委員会を発足させ、全学的見地からさらなる教職課程の機能向上やきめの細かい教職指導体制がとれるようにしている。この委員会は、各学部の教職課程委員長、教職科目担当教員および教務部担当者等をもって構成され、教職課程カリキュラムの検討(教職実践演習の運営を含む)、学生指導の企画・立案および実施、教育実習等における教育委員会との連携協力に係る窓口となるなど、大学全体としての教職課程運営が齟齬なく機能的に行われるよう図られている。

教職課程を履修する学生一人ひとりに対しては、「1. 履修指導」でも指摘した通り、個別指導を随時実施し、主体的な学修を促進するための支援を行っている。特に、「教職履修カルテ」と、担任教員がポートフォリオ的に作成・保管している。さらに、本学独自の学

生個別調査書を元にして、教職担当教員、担任教員、副担任教員、ゼミ担当教員が多角的に支援・指導に当たっている。

### 3. 教職センターについて

本学には教育研究を促進し、この分野に積極的に貢献できる有為な人材を養成することを意図して、平成 7 年に「教育研究所」が設置された。ここでは、教員採用試験に現役で合格できる実力を培うため、教職教養・一般教養・専門教養（国語・英語・社会・地理歴史・公民・美術・工芸・保健体育）の指導、教職観及び人格の形成に係る支援を実施し、北陸の私立大学としては最多となる 190 名を超える教員を養成・輩出してきた。そのためのプログラムは多岐に亘り、放課後を利用した定時講座と、土曜日・日曜日及び長期休暇に行う集中講義(合宿を含む)を通し、都道府県の違いや、時代と共に変容する出題傾向に対応した研究・指導の導入、論作文添削、模擬授業・面接指導等を行ってきた。

こうした実績と伝統を更に発展・充実させるため、平成 29 年 4 月には既存の「教育研究所」と全学教職課程委員会を統合し、正課、課外に関わらず教職関連事業の全てを統合した組織として「教職センター」を創設した。教職センターには、教員養成に長く携わってきた実績十分の研究者や学校現場での経験を有する教員、教科教育に長けた専門家、熱意あふれる若手スタッフを配置し、教員養成組織の更なる質の向上を図っている。

これにより、従来の教員採用試験対策の質的向上だけではなく、教職科目の履修チェック、教育実習・介護等体験実習、学校ボランティアへの支援をはじめ、下記に述べる各自治体の教育委員会やいしかわ師範塾との連携も一元化して行っていくことを可能としている。

### 4. 石川県教育委員会等との連携

本学では毎年、教員志望学生を対象に、石川県教育長ほかによる教育実習事前講話の機会及び石川県教育センターの各教科担当指導主事から直接指導を受ける機会を設けている。また、石川県教育委員会の職員による公立学校教員採用試験の説明会も本学教職員及び教員志望学生(主として 3 年生・4 年生)を対象に行われている。

さらに、石川県教育委員会が主催する「いしかわ師範塾」について、このセミナーは、石川県の公立学校教員を目指す大学 3 年生を対象に、講義・演習、学校実習などの実践的な講座を通して、教員としての心構えや授業づくりの基礎を身につけるよう指導が受けられるものであり、本学の教員志望学生の多くが参加している。3 年次の 8 月に開講し、翌年の教員採用試験直前の 6 月末まで、土曜日あるいは日曜日等に講座を開講しており、本学の授業には支障なく受講できるだけでなく、必要に応じて、本学からの送迎も実施し、交通手段の無い教職志望者への配慮もしている。加えて、期間中に石川県内の公立学校への「学校実習」を 80 時間実施することとなっており、学校行事への参加や教科指導・部活動指導など、ティーチングアシスタントとして学校現場における体験活動をおこなうこと

ができる。